

玖珠町観光振興基本計画（案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の結果

玖珠町観光振興基本計画（案）について、町民の皆さまからご意見を募集しました。お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する町の考え方を、次のとおり公表します。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 募集期間 | 令和8年3月9日（月）から令和8年3月23日（月）まで |
| 意見提出者 | 2人（意見13件） |
| 提出方法 | 持参、郵送、ファクス、電子メール |

いただいたご意見は要約して掲載しています。また、個人が特定される内容や本計画に直接関係しないご意見については、掲載を省略する場合があります。

| No. | ご意見の概要 | 町の考え方 |
|-----|--|---|
| 1 | 過去の観光施策に対する総括が示されていないため、計画の実効性に不安がある。 | 本町において観光分野に特化した個別計画は、本計画が初めてとなります。今回、デジタル観光統計を新たに導入し、客観的データに基づく現状把握を出発点としております。計画期間中もKPI管理により継続的に効果検証を行い、必要に応じて見直しを行ってまいります。 |
| 2 | 計画全体の施策範囲が広く、限られた人的資源の中で実行可能か懸念がある。 | リソースの制約は本町も最重要課題として認識しております。本計画は5年間の「基本計画」として変化への対応余地を確保する性格上、施策を幅広く示しておりますが、実施にあたっては年度ごとに優先度を精査し、段階的に展開してまいります。とりわけ、豊後森機関庫公園および森まちなみエリアについては、来訪者数・滞在時間の両面でデータ上の伸びしろが大きいことから、優先的に施策を集中させる考えです。 |
| 3 | 主要ターゲットが県内・福岡方面であるなら、多言語対応の優先度は低いのではないかと。 | 主要ターゲットが近隣層であることは共有しておりますが、隣接する由布院・別府では海外来訪者が受入容量を超えている状況があり、本町はその受け皿となり得る地理的優位性を持っております。現に豊後森機関庫公園への来訪者の2～3割は海外からのお客様であり、多言語対応は既に現場が直面する課題です。QRコード活用等、費用対効果の高い手法を組み合わせ段階的に進めてまいります。 |
| 4 | 来訪者の多くが自家用車利用であることを踏まえると、デジタルによる情報提供より現地看板等の視認性の高い案内が有効ではないかと。 | ご指摘は、現場の実態に即した重要な視点であると認識しております。本計画における情報提供の基本は、来訪者が各拠点の駐車場に車を止め、降車した時点で目に入る視認性の高い案内標識やパンフレット等を第一とし、あわせて降車後にQRコード等を通じて詳細情報へアクセスできるデジタル手段を組み合わせるものです。オンラインでの情報発信は、来訪前の認知・関心喚起に重点を置いており、いずれも運転中のスマートフォン利用を前提とするものではございません。この考え方が計画本文においてより明確に伝わるよう、表現の整理を検討いたします。 |
| 5 | 自家用車で来訪する層が二次交通に乗り換えることは現実的でなく、予算配分を見直すべきではないかと。 | 来訪者の大半が自家用車利用であることは認識しております。二次交通の記述は、JRで豊後森機関庫に訪れる層がそこから先へ向かうことが困難な現状への対応であり、自家用車利用者により乗り換えを求める趣旨ではございません。 |

| No. | ご意見の概要 | 町の考え方 |
|-----|---|--|
| 6 | 森まちなみエリアは道路が狭く駐車場もわかりにくいいため、車での来訪には大きな障壁がある。 | 重要なお指摘として認識しております。方針2「拠点間の接続機能の強化」における案内標識の再整備の中で、駐車場案内の改善についても具体的に取り組んでまいります。 |
| 7 | 通過型を滞在型に転換するより、中継地点としての強みを活かしたドライブイン・テイクアウト等に注力する方が現実的ではないか。 | 本計画が目指す転換は、来訪者を長時間拘束することではなく、現在平均約31分の拠点滞在時間を飲食や体験を通じて延伸し、町内での消費行動につなげることです。KPIとして指標とする8箇所の平均滞在時間10分以上の延伸を掲げており、既にお越しいただいている約86万人の満足度と消費機会の向上を図るものです。ご提案の「ドライブイン」「テイクアウト」は、方針2「滞在を促す飲食・休息環境の整備」と方向性を共有しており、車利用者のニーズに即した展開を検討してまいります。「中継地点の強みを活かす」と「滞在の質を高める」は対立するものではなく、両立し得るものと考えております。 |
| 8 | 豊後森機関庫公園の維持管理の現状に懸念がある。観光資源としてのポテンシャルを活かし、施設自体が収益を生んで管理費に充てる仕組みづくりが必要ではないか。 | 貴重なご指摘として重く受け止めております。本計画では、豊後森機関庫公園を本町観光の象徴的拠点として位置づけ、周辺施設との接続による滞在・消費への転換を重点施策に掲げております。ご提案の収益を維持管理に還元する仕組みについては、方針2「滞在を促す飲食・休息環境の整備」および方針4「文化・暮らしとの共生と継承」の中で、観光収益を文化財の保全へ還元する循環の構築を目指しており、ご意見と方向性を共有するものと考えております。 |
| 9 | 来訪者の口コミやフィードバックを施策に反映する仕組みが必要ではないか。 | ご指摘のとおり、来訪者の声を継続的に把握し施策に反映することは不可欠と認識しております。本計画ではデジタル観光統計によるKPI管理を基軸としておりますが、口コミ等の定性的な評価も含め、来訪者満足度を多角的に把握する手法を検討してまいります。 |
| 10 | 計画が理念的・構想的にとどまっており、具体性や実施時期の設定が不足している。 | 本計画は基本的な方向性と方針を示す「基本計画」として策定しております。計画の推進にあたっては、社会情勢の変化や観光動向の推移、施策の進捗状況等を踏まえ、柔軟に見直しを行いながら、具現化に向けた取組を着実に進めてまいります。 |
| 11 | 森まちなみエリアの町家が空家化・老朽化する前に、地域住民との協議を経た実施計画を早急に策定すべきではないか。 | 同エリアは施策を集中させる重点拠点のひとつとして位置づけており、地域の皆様との協議を重ねながら具体的な展開を進めてまいります。 |
| 12 | 地域住民や団体が計画にどう関わるべきか、意見交換の場の設定等を具体的に示すべきではないか。 | 本計画の第6章「推進体制」において、行政・観光団体・事業者がそれぞれの役割を分担し連携する体制を定めております。ご指摘を踏まえ、関係者間の方針共有や意見交換の機会をさらに充実させてまいります。 |
| 13 | 広域連携について、近隣自治体等とのより幅広い連携を具体的に展開すべきではないか。 | 本計画の方針3「広域連携の強化」では、由布院・別府をはじめとする広域観光ルート上の主要観光地との連携に加え、地理的な近接性に限らず、テーマを共有する自治体や交流のある地域との幅広い連携を掲げております。特定の自治体に限定せず、多様なつながりを活かした広域的な連携を具体的に進めてまいります。 |

このたびは、玖珠町観光振興基本計画（案）に関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。お忙しい中、計画全体を丁寧にお読みいただいたうえで、大変具体的かつ鋭い視点からご意見をお寄せくださいましたこと

に、深く感謝申し上げます。いただいたご意見は、計画の実効性を高めるうえで欠かせない現場の声として、今後の施策推進における貴重な指針とさせていただきます。

玖珠町 商工観光政策課